

## ◇ アンケート結果から ◇



## I かがやく子～夢につながる主体的な学びと確かな学力～

- ◇ アンケート各質問項目の12月と7月の結果を比較すると、「そう思う」「まあまあそう思う」と肯定的に答えた割合が、全体的に7月より12月でやや大きくなっています。  
特に、③「学校で学習した内容を分かっている」については、保護者が3.0P（ポイント）・教職員が10.5P・児童が1.9P増加しています。学校で学習した内容を家庭で復習する子どもが増え、定着してきたと感じています。今後も引き続き「家庭学習時間の確保と内容の充実」に努めていきたいと考えています。
- ◇ 保護者アンケートでは、④「先生たちは子どもに寄り添い熱意をもって学習指導をしている」の項目で3.5P増加しています。「漢字のはらいや止め等、丁寧に指導されていて大変よいと思う。」「分かるまで指導をしてくださっていると思います。いつもはげましの言葉に勇気づけられていると感じ嬉しいです。」などの意見がありました。学校ではTTによる指導や習熟度別コース学習などを行い、一人一人の子どもを伸ばす授業づくりに努めています。引き続きご家庭での励ましや見届けもよろしくお祈りします。
- ◇ 児童アンケートでは、①「学校ではめあてをもって進んで勉強している」の項目で3.1P増加、⑤「先生たちは、学習で分からないところを質問したり相談したりしやすい雰囲気づくりに努めている」の項目で3.5P増加しています。これは学級経営の成果の表れだと考えています。今後も一人一人を大切にする指導を続けてまいります。
- ◇ 今年度の成果と課題を踏まえ、本校のめざす子ども像「かがやく子ー夢を高くもち、自分のよさを発揮して学ぶことができる子どもー」の実現のため、教職員一丸となってより一層の授業改善に取り組んでいきたいと考えています。

## II やさしい子 ～夢に向かって磨く豊かな心～



- ◇ アンケートの結果では、7項目とも「そう思う」「まあまあそう思う」を合わせると、概ねよい評価でした。⑪「子どもに夢（めあて）をもたせよさを伸ばす指導をしている」の項目では、保護者が1.7P・教職員が5.4P・児童が1.5P増加しています。学校では、めあてや目標を決めてそれに向かってがんばる大切さを教えると同時に、子ども一人一人に「夢」をもたせ「夢」を大事にしていきたいと考えています。ふるさと教育やキャリア教育などを含めた教育活動の充実を図り、家庭や地域と協力して、様々な体験活動の機会を増やしていきたいと思っております。今後とも一人一人に夢（めあて）をもたせ、自己有用感や自尊感情等の醸成に努めてまいります。
- ◇ 保護者アンケートでは、「夢を具体的に想像させるような本などにふれてほしい。身近な先生や栄養士さん、保健の先生、ALTの先生の体験談やどんな学校に行ってもどのように勉強してきたかななどの話を通じて、今勉強していることがどれほど大切かという意味を感じてほしい。」などの意見をいただきました。

- ◇ 本校では、礼儀正しく思いやりのある子どもを育てることを目指して、明るい元気なあいさつと、場に応じた言葉遣いや行動ができるように指導を重ねてきました。今年度は6年生を中心に、自主的に朝のあいさつ運動をする子どもが増え、昨年度よりも明るく元気にあいさつができる子どもが多くなりました。今後もあいさつをはじめ、礼儀正しく思いやりのある行動ができる子どもの育成に努めてまいります。
- ◇ 学校関係者評価委員会では、「重点目標の思いやる心の育成『友だちとの約束を守っている』『いじめはどんな理由があってもいけないことだと思う』『学校では友だちと仲良くして生活している』の項目が概ね達成されている。」「夢を応援する工夫された学習、ふるさと先生・ボランティアの協力、本物に触れる体験学習等により、行動・言葉から相手を思いやる心が育成され温かさを感じる」「縦割り班活動などが上・下を思いやることにつながっていると思う」などの意見をいただきました。
- ◇ 今年度の成果と課題を踏まえ、ふるさと教育を基盤としたキャリア教育の充実を図りながら、様々な体験的活動から得る子どもの「学び」を大切にして、豊かな心を持ち自己有用感や自尊感情等を高める取組を進めていきたいと考えています。

### Ⅲ 学校全体について

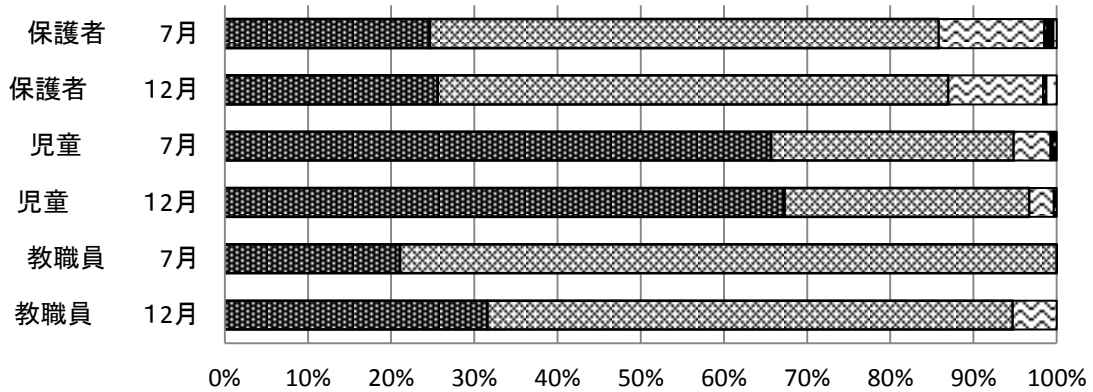
- ◇ アンケート4項目について、保護者・教職員とも概ねよい評価でした。保護者アンケートでは、⑮「学校は学校を訪れる保護者や地域住民に温かく接し、「来校しやすい雰囲気」づくりに努めている」の項目で、1.5P増加しました。「職員室に行ったときの先生たちの対応がよく、すごく自然で学校に行ってもとても気持ちがいいです。学校の雰囲気がすごくいいです」などのご意見をいただきました。
- ◇ 校舎内外の環境整備については、「古さを感じさせないくらいよく清掃されている印象」などのご意見をいただきました。歴史ある校舎を大切に使う気持ちを育てていきたいと思えます。また、職員室と玄関が離れているので不審者等が心配というご意見がありました。玄関のインターホンの設置など安全対策について教育委員会と検討してまいります。
- ◇ メディア視聴・利用については、長時間視聴が改善されていない子どもがまだ多く見られます。学校関係者評価委員会でも、「体の発育や心の発達が心配である。」「メディアの視聴時間は家庭での問題で難しいが、今後も働きかけていく必要がある。」などのご意見をいただきました。学校と地域・家庭が連携・協力し、子どもに適したよりよい

### Ⅳ まとめ

- ◇ お忙しい中、年2回のアンケートにご協力いただき、心より感謝申し上げます。また、学校関係者評価委員としてご協力くださいました学校評議員、PTA総務部の皆様に、改めて感謝とお礼を申し上げます。  
皆様からいただいたご意見や要望をしっかりと受け止めて、一層の改善に努め、保護者や地域住民に開かれた学校づくりを進めてまいりますので、今後ともご理解とご協力をお願いいたします。

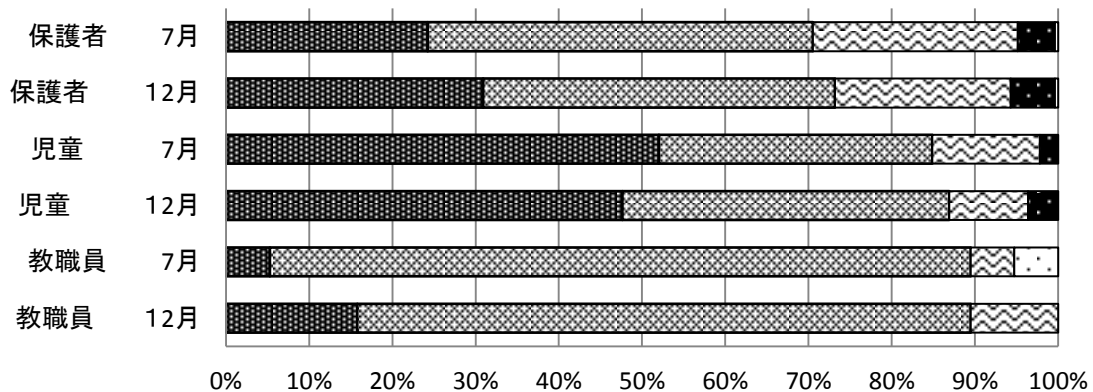
I かがやく子

① めあてをもち、自分らしく進んで学んでいる



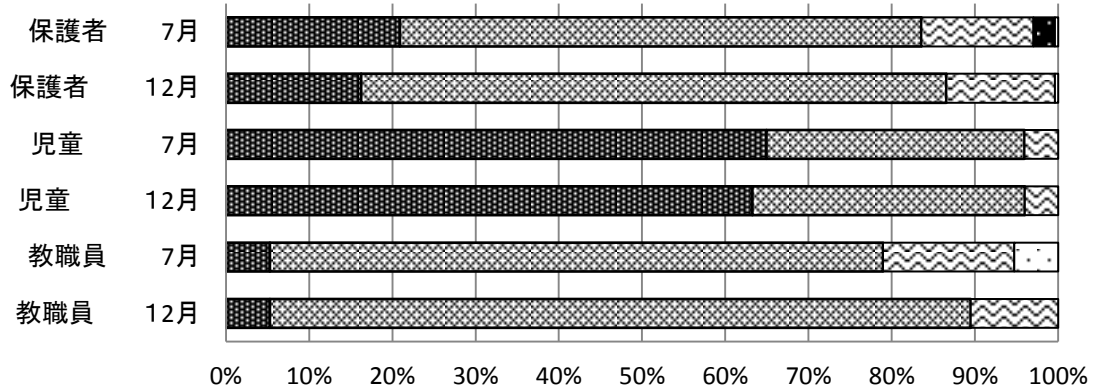
	教職員 12月	教職員 7月	児童 12月	児童 7月	保護者 12月	保護者 7月
■ そう思う	31.6%	21.1%	67.3%	65.7%	25.6%	24.6%
▣ まあまあそう思う	63.2%	78.9%	29.5%	29.2%	61.4%	61.2%
▢ あまり思わない	5.3%	0.0%	2.9%	4.4%	11.4%	12.7%
■ ぜんぜん思わない	0.0%	0.0%	0.4%	0.7%	0.4%	1.1%
□ わからない	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	1.2%	0.4%

② 家庭学習の時間が定着してきている



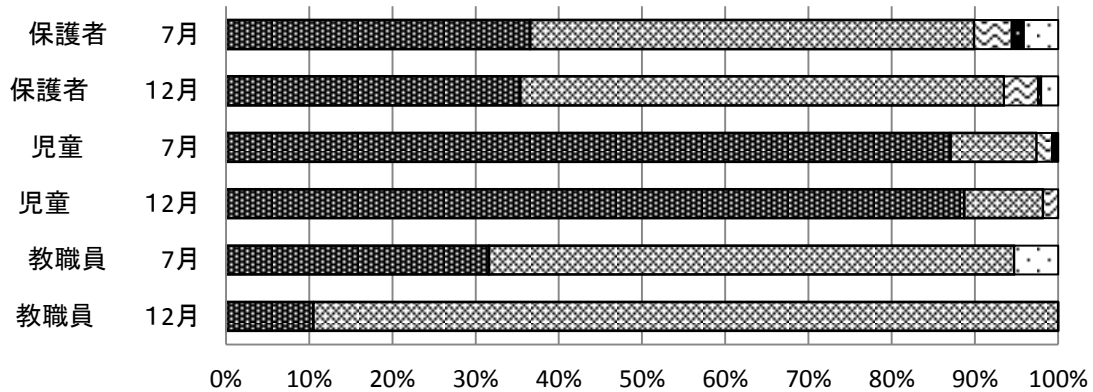
	教職員 12月	教職員 7月	児童 12月	児童 7月	保護者 12月	保護者 7月
■ そう思う	15.8%	5.3%	47.6%	52.0%	30.9%	24.3%
▣ まあまあそう思う	73.7%	84.2%	39.3%	32.8%	42.3%	46.3%
▢ あまり思わない	10.5%	5.3%	9.5%	12.9%	21.1%	24.6%
■ ぜんぜん思わない	0.0%	0.0%	3.6%	2.2%	5.3%	4.5%
□ わからない	0.0%	5.3%	0.0%	0.0%	0.4%	0.4%

③ 学校で学習した内容を分かっている



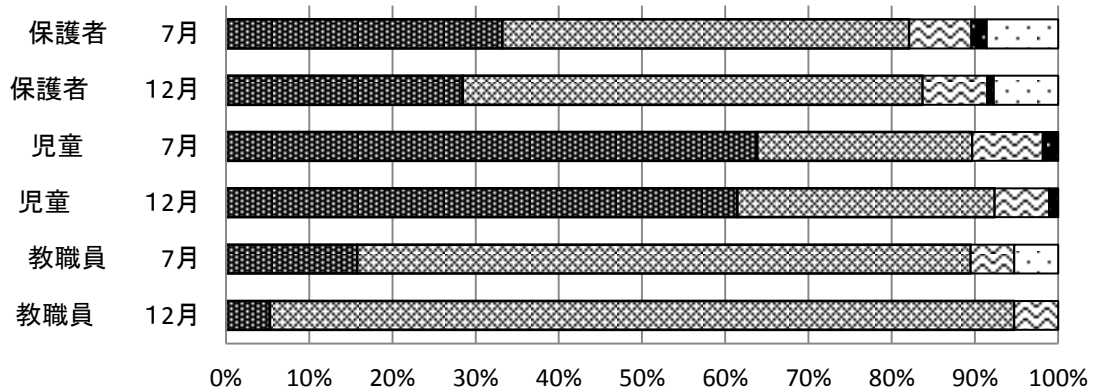
	教職員 12月	教職員 7月	児童 12月	児童 7月	保護者 12月	保護者 7月
■ そう思う	5.3%	5.3%	63.3%	64.9%	16.3%	20.9%
▨ まあまあそう思う	84.2%	73.7%	32.7%	31.0%	70.3%	62.7%
▩ あまり思わない	10.5%	15.8%	4.0%	4.1%	13.0%	13.4%
■ ぜんぜん思わない	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	2.6%
□ わからない	0.0%	5.3%	0.0%	0.0%	0.4%	0.4%

④ 子どもに寄り添い熱意をもって学習指導



	教職員 12月	教職員 7月	児童 12月	児童 7月	保護者 12月	保護者 7月
■ そう思う	10.5%	31.6%	88.7%	87.1%	35.4%	36.6%
▨ まあまあそう思う	89.5%	63.2%	9.5%	10.3%	58.1%	53.4%
▩ あまり思わない	0.0%	0.0%	1.8%	1.8%	4.1%	4.5%
■ ぜんぜん思わない	0.0%	0.0%	0.0%	0.7%	0.4%	1.5%
□ わからない	0.0%	5.3%	0.0%	0.0%	2.0%	4.1%

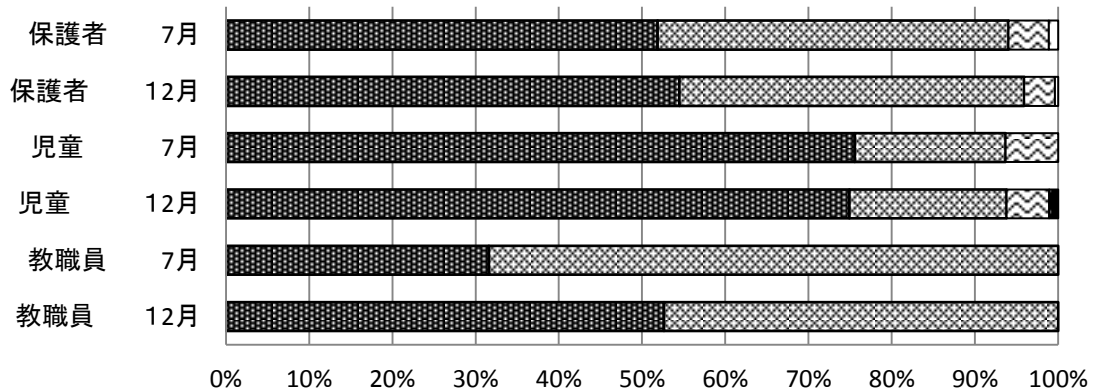
⑤ 質問したり相談したりしやすい雰囲気づくり



	教職員 12月	教職員 7月	児童 12月	児童 7月	保護者 12月	保護者 7月
■ そう思う	5.3%	15.8%	61.5%	63.8%	28.5%	33.2%
■ まあまあそう思う	89.5%	73.7%	30.9%	25.8%	55.3%	48.9%
■ あまり思わない	5.3%	5.3%	6.5%	8.5%	7.7%	7.5%
■ ぜんぜん思わない	0.0%	0.0%	1.1%	1.8%	0.8%	1.9%
□ わからない	0.0%	5.3%	0.0%	0.0%	7.7%	8.6%

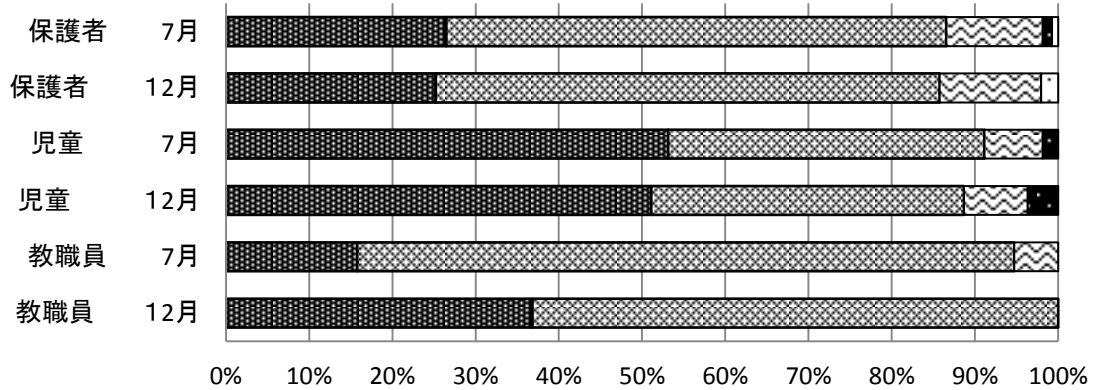
II やさしい子

⑥ 学校での毎日が楽しいと感じている



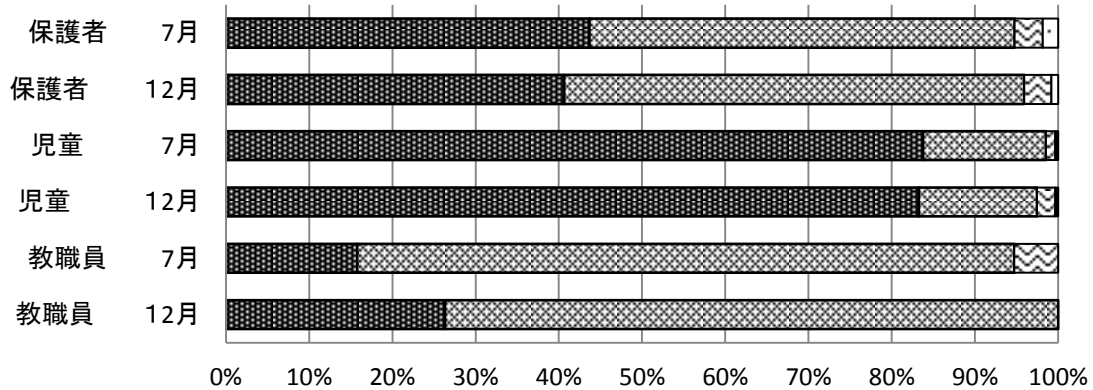
	教職員 12月	教職員 7月	児童 12月	児童 7月	保護者 12月	保護者 7月
■ そう思う	52.6%	31.6%	74.9%	75.6%	54.5%	51.9%
■ まあまあそう思う	47.4%	68.4%	18.9%	18.1%	41.5%	42.2%
■ あまり思わない	0.0%	0.0%	5.1%	6.3%	3.7%	4.9%
■ ぜんぜん思わない	0.0%	0.0%	1.1%	0.0%	0.0%	0.0%
□ わからない	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.4%	1.1%

⑦ 自分がもっているよさを発揮している



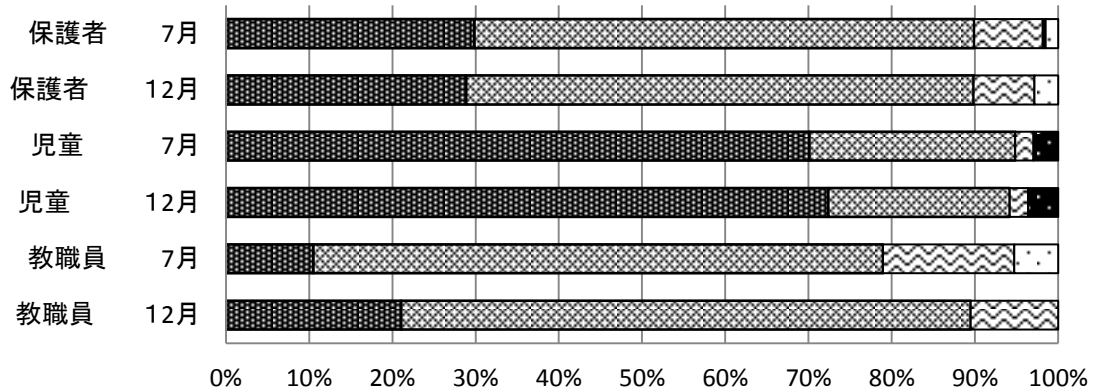
	教職員 12月	教職員 7月	児童 12月	児童 7月	保護者 12月	保護者 7月
■ そう思う	36.8%	15.8%	51.1%	53.1%	25.2%	26.5%
▨ まあまあそう思う	63.2%	78.9%	37.6%	38.0%	60.6%	60.1%
□ あまり思わない	0.0%	5.3%	7.7%	7.0%	12.2%	11.6%
■ ぜんぜん思わない	0.0%	0.0%	3.6%	1.8%	0.0%	1.1%
□ わからない	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	2.0%	0.7%

⑧ 友達とのかかわりを大切にして学校生活を



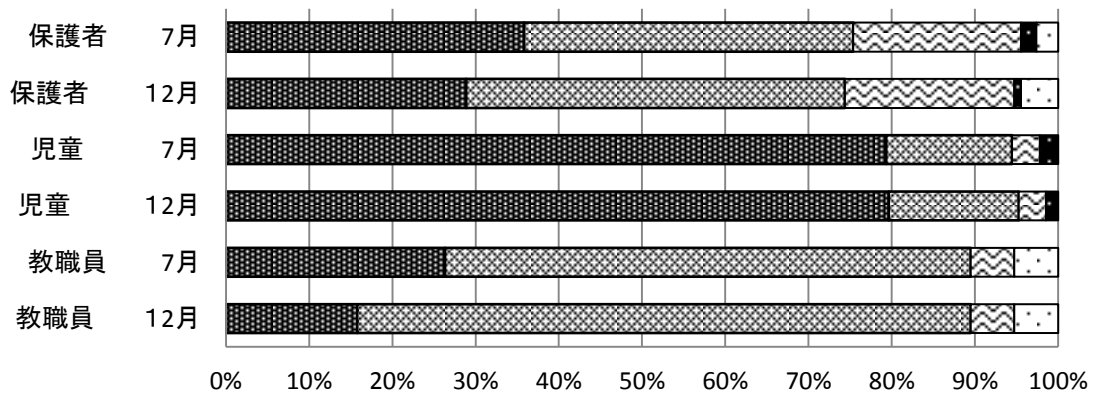
	教職員 12月	教職員 7月	児童 12月	児童 7月	保護者 12月	保護者 7月
■ そう思う	26.3%	15.8%	83.3%	83.8%	40.7%	43.7%
▨ まあまあそう思う	73.7%	78.9%	14.2%	14.8%	55.3%	51.1%
□ あまり思わない	0.0%	5.3%	2.2%	1.1%	3.3%	3.4%
■ ぜんぜん思わない	0.0%	0.0%	0.4%	0.4%	0.0%	0.0%
□ わからない	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.8%	1.9%

⑨ 家の人から認められていると思っている



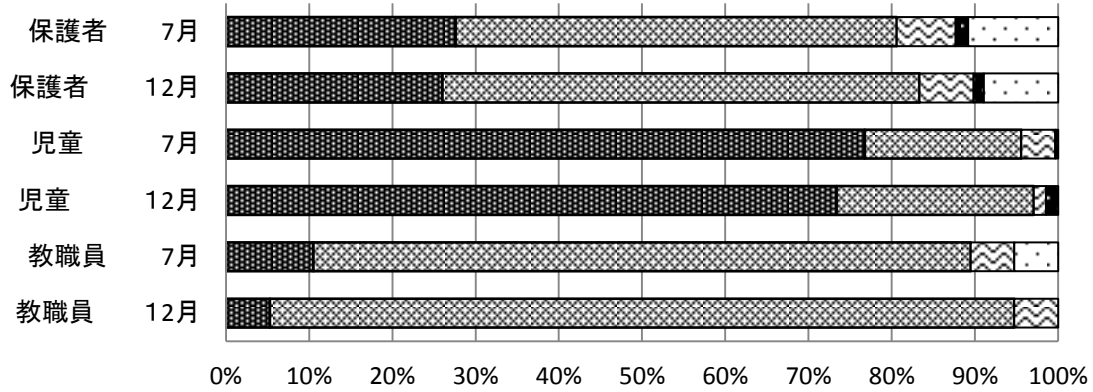
	教職員 12月	教職員 7月	児童 12月	児童 7月	保護者 12月	保護者 7月
■ そう思う	21.1%	10.5%	72.4%	70.1%	28.9%	29.9%
▨ まあまあそう思う	68.4%	68.4%	21.8%	24.7%	61.0%	60.1%
▩ あまり思わない	10.5%	15.8%	2.2%	2.2%	7.3%	8.2%
■ ぜんぜん思わない	0.0%	0.0%	3.6%	3.0%	0.0%	0.4%
□ わからない	0.0%	5.3%	0.0%	0.0%	2.8%	1.5%

⑩ 子どもは将来の夢や目標をもっている



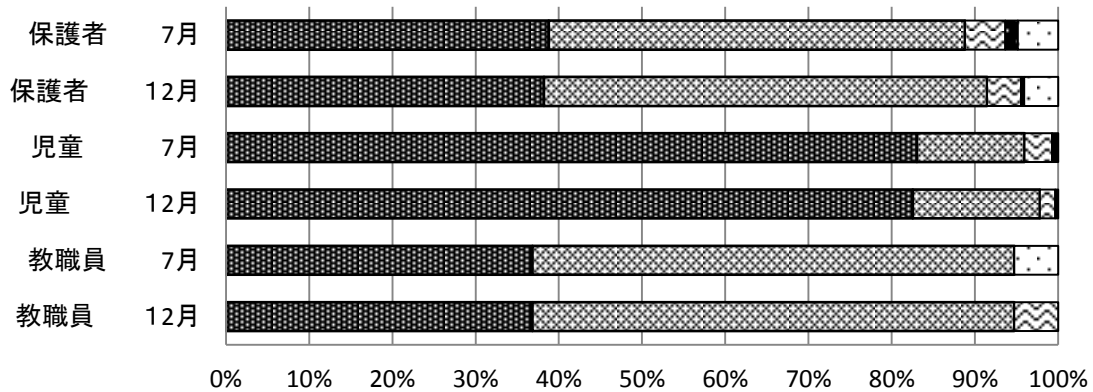
	教職員 12月	教職員 7月	児童 12月	児童 7月	保護者 12月	保護者 7月
■ そう思う	15.8%	26.3%	79.6%	79.3%	28.9%	35.8%
▨ まあまあそう思う	73.7%	63.2%	15.6%	15.1%	45.5%	39.6%
▩ あまり思わない	5.3%	5.3%	3.3%	3.3%	20.3%	20.1%
■ ぜんぜん思わない	0.0%	0.0%	1.5%	2.2%	0.8%	1.9%
□ わからない	5.3%	5.3%	0.0%	0.0%	4.5%	2.6%

⑪ 夢をもたせ子どものよさを伸ばす指導



	教職員 12月	教職員 7月	児童 12月	児童 7月	保護者 12月	保護者 7月
■ そう思う	5.3%	10.5%	73.4%	76.8%	26.0%	27.6%
▣ まあまあそう思う	89.5%	78.9%	23.7%	18.8%	57.3%	53.0%
▢ あまり思わない	5.3%	5.3%	1.5%	4.1%	6.5%	7.1%
■ ぜんぜん思わない	0.0%	0.0%	1.5%	0.4%	1.2%	1.5%
□ わからない	0.0%	5.3%	0.0%	0.0%	8.9%	10.8%

⑫ 子どもに寄り添い成長を願い生活指導

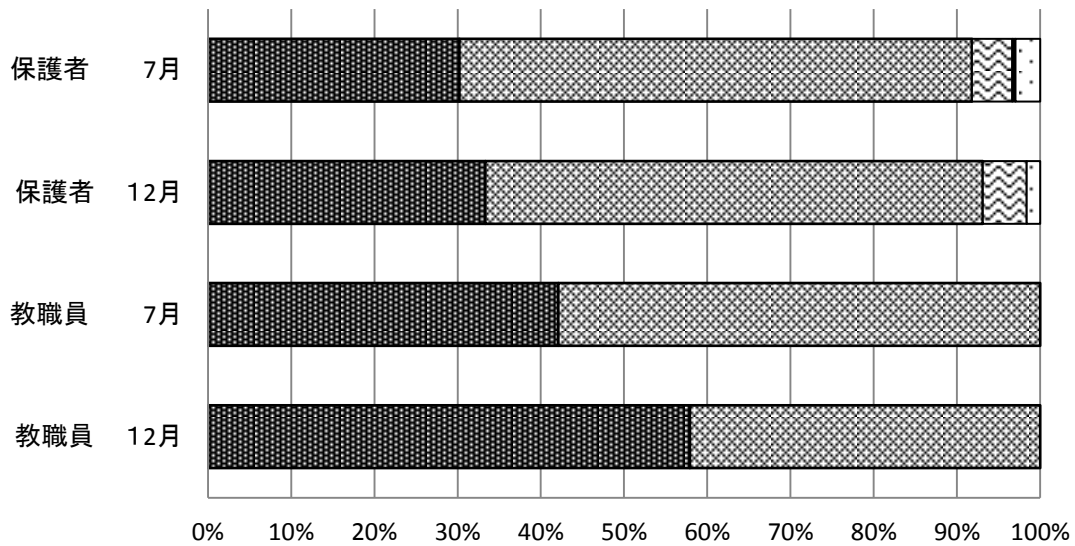


	教職員 12月	教職員 7月	児童 12月	児童 7月	保護者 12月	保護者 7月
■ そう思う	36.8%	36.8%	82.5%	83.0%	38.2%	38.8%
▣ まあまあそう思う	57.9%	57.9%	15.3%	12.9%	53.3%	50.0%
▢ あまり思わない	5.3%	0.0%	1.8%	3.3%	4.1%	4.9%
■ ぜんぜん思わない	0.0%	0.0%	0.4%	0.7%	0.4%	1.5%
□ わからない	0.0%	5.3%	0.0%	0.0%	4.1%	4.9%



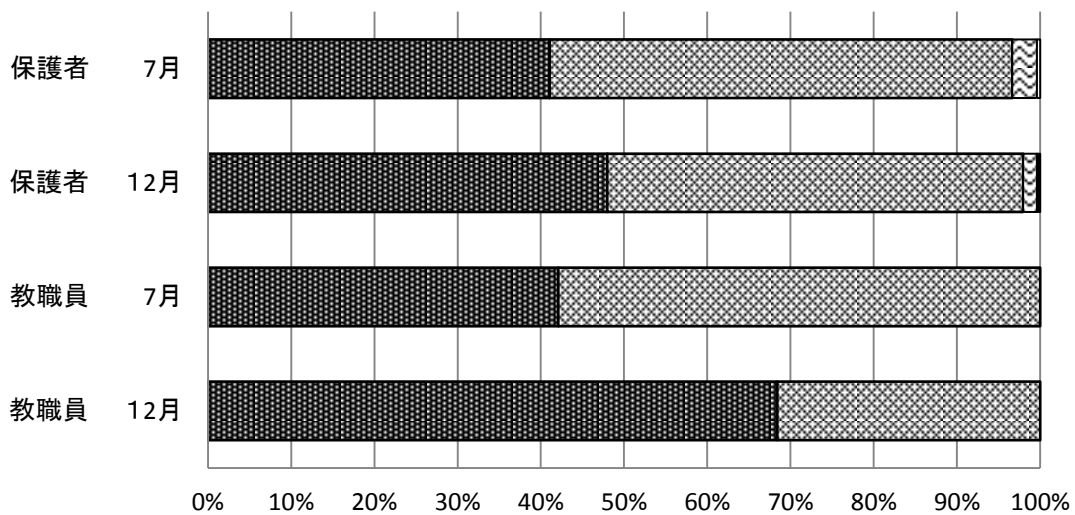
Ⅲ 学校全体について

⑬ (学校)努力していかうとする姿勢



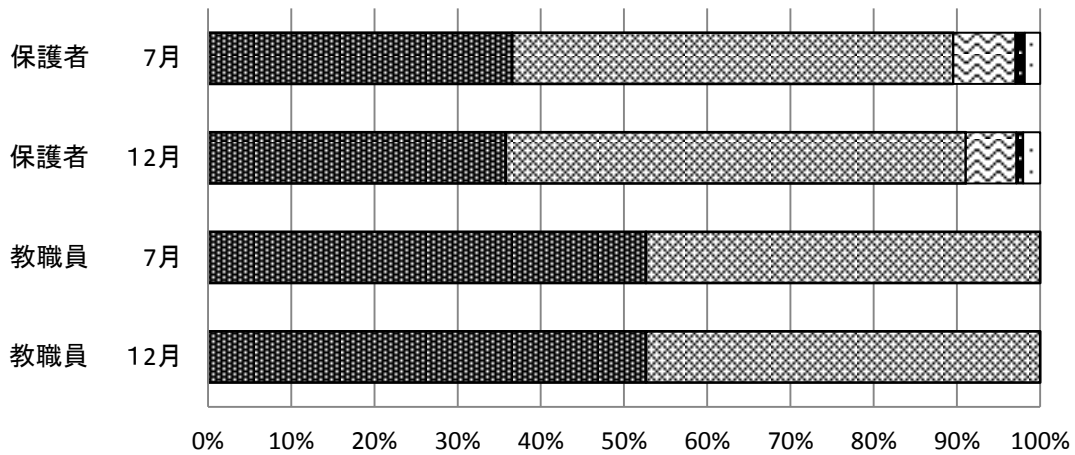
	教職員 12月	教職員 7月	保護者 12月	保護者 7月
■ そう思う	57.9%	42.1%	33.3%	30.2%
▨ まあまあそう思う	42.1%	57.9%	59.8%	61.6%
□ あまり思わない	0.0%	0.0%	5.3%	4.9%
■ ぜんぜん思わない	0.0%	0.0%	0.0%	0.4%
□ わからない	0.0%	0.0%	1.6%	3.0%

⑭ 学校の方針等を定期的に伝えている



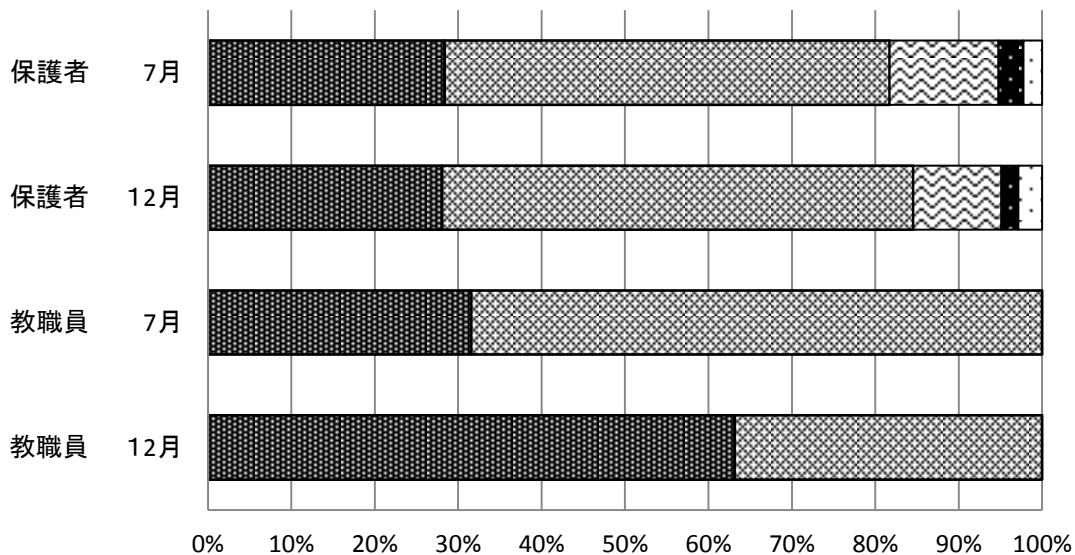
	教職員 12月	教職員 7月	保護者 12月	保護者 7月
■ そう思う	68.4%	42.1%	48.0%	41.0%
▨ まあまあそう思う	31.6%	57.9%	50.0%	55.6%
□ あまり思わない	0.0%	0.0%	1.6%	3.0%
■ ぜんぜん思わない	0.0%	0.0%	0.4%	0.0%
□ わからない	0.0%	0.0%	0.0%	0.4%

⑮ (学校)来校しやすい雰囲気



	教職員 12月	教職員 7月	保護者 12月	保護者 7月
■ そう思う	52.6%	52.6%	35.8%	36.6%
▨ まあまあそう思う	47.4%	47.4%	55.3%	53.0%
▤ あまり思わない	0.0%	0.0%	6.1%	7.5%
■ ぜんぜん思わない	0.0%	0.0%	0.8%	1.1%
□ わからない	0.0%	0.0%	2.0%	1.9%

⑯ (学校)校舎内外の環境整備に努めている



	教職員 12月	教職員 7月	保護者 12月	保護者 7月
■ そう思う	63.2%	31.6%	28.0%	28.4%
▨ まあまあそう思う	36.8%	68.4%	56.5%	53.4%
▤ あまり思わない	0.0%	0.0%	10.6%	13.1%
■ ぜんぜん思わない	0.0%	0.0%	2.0%	3.0%
□ わからない	0.0%	0.0%	2.8%	2.2%

②

重点目標

夢につなげる主体的な学びと確かな学力（確かな学力の向上）

③

現 状

◆昨年度の県学習状況調査【質問紙】（H27.12実施）において、主体的な学びにかかわる項目の結果は次のとおりであった。  
<授業について>

【ふだんの授業では自分の考えを発表する機会があると思う】  
( )の数値は全県平均

A (つよくそう思う, そう思う)		B (そう思わない, まったくそう思わない)	
4年:	84.3% (88.5%)	15.7%	(11.6%)
5年:	81.1% (89.2%)	8.9%	(10.8%)
6年:	85.3% (91.4%)	14.7%	(8.6%)

【ふだんの授業では学級の友達との間で話し合う活動をよく行っている】  
( )の数値は全県平均

A (つよくそう思う, そう思う)		B (そう思わない, まったくそう思わない)	
4年:	96.1% (92.8%)	4.0%	(7.2%)
5年:	98.3% (93.0%)	1.8%	(7.0%)
6年:	92.6% (94.9%)	7.4%	(5.1%)

【ふだんの授業では授業の目標（めあて・ねらい）を立てて取り組んでいると思う】  
( )の数値は全県平均

A (つよくそう思う, そう思う)		B (そう思わない, まったくそう思わない)	
4年:	92.2% (93.6%)	7.9%	(6.5%)
5年:	98.2% (94.2%)	1.8%	(5.7%)
6年:	97.1% (96.6%)	3.0%	(3.4%)

◆今年度の学校運営アンケート（H28.7実施）において、家庭学習にかかわる項目の結果は次のとおりであった。  
<家庭学習について>

【学校の宿題や家庭学習をがんばってやっている】児童  
( )は前学年のH27.12実施時の数値

A (そう思う, まあまあそう思う)		B (あまり思わない, ぜんぜん思わない)	
1年:	97.2%	2.9%	
2年:	89.1% (89.4%)	10.9%	(10.6%)
3年:	85.0% (90.0%)	15.0%	(10.0%)
4年:	86.4% (97.9%)	13.6%	(2.1%)
5年:	76.0% (94.1%)	24.0%	(5.9%)
6年:	76.8% (80.4%)	23.2%	(19.6%)

【自分の子どもは家庭学習の時間が定着してきている】保護者  
( )は前学年のH27.12実施時の数値

A (つよくそう思う, まあまあそう思う)		B (あまり思わない, ぜんぜん思わない)	
1年:	80.0%	17.2%	
2年:	86.7% (89.1%)	13.3%	(10.9%)
3年:	57.9% (77.0%)	42.1%	(23.0%)
4年:	73.2% (85.1%)	26.6%	(14.9%)
5年:	61.3% (76.0%)	38.7%	(24.0%)
6年:	66.0% (64.2%)	34.0%	(35.8%)

◆本校では、ふだんの授業で目標を立てて取り組んでいる子どもが各学年とも多い。反面、自分の考えを発表する機会があると答えている子どもが各学年とも少ない。また、学年が上がるにつれて、家庭学習の定着に問題がある。

P

- ④ **具体的な目標**
- 今年度県学習状況調査（H28.12実施）の質問紙で、「自分の考えを発表する機会がある」と答える子どもの肯定的回答の割合を経年比較で1ポイント（以下，P）以上上げる。
  - 今年度第2回学校運営アンケートで、家庭学習の項目についての肯定的回答の割合を児童・保護者ともに1回目より上げる。



- ⑤ **目標達成のための方策**
- 1 基礎的・基本的な学習内容の定着
    - ・個別指導，補充指導の徹底による学習内容の確実な定着
    - ・読み，書き，計算スキルの定着（はげみ学習，チャレンジテスト）
    - ・「話す・聞く・書く・読む」の基本的な言語能力の向上
    - ・基本的かつ主体的な学習習慣の形成（「学習のやくそく」「家庭学習の手引き」）
  - 2 指導方法・指導体制の工夫と改善
    - ・学習のねらいを明確にし，楽しい授業・分かる授業を展開
    - ・学習意欲・追究意欲を高める「問い」からの授業再構築
    - ・多様な学習形態の工夫（実態把握と分析）
    - ・教科の特性を生かした指導の充実（一部教科担任制）
  - 3 自ら考え，学び続ける力の育成
    - ・問題解決的及び体験的な学習活動の意図的・計画的実施
    - ・伝え合い，学び合う力を高める指導の工夫
    - ・自己評価や相互評価の工夫
  - 4 特別支援教育体制の充実
    - ・保護者，関係機関との連携強化
    - ・個別の指導計画等に基づいたきめ細かな指導



- ⑥ **具体的な取組状況**
- 1 基礎的・基本的な学習内容の定着
    - ・学年に応じた「月別重点目標」の設定と達成状況評価
    - ・「身に付けたい5つの力 五城目町の子ども」～学習のやくそく～の指導の徹底
    - ・はげみ学習の実施（13:30～13:45）3年～6年
    - ・全校チャレンジテストの実施—達成度の把握と個別指導
    - ・「五小っ子学習会」の実施—補充的な学習
    - ・家庭学習の手引き作成・活用
    - ・家庭学習ノート展の実施
    - ・ノート指導の充実—自分の思考の足跡が見えるノートづくり
  - 2 指導方法・指導体制の工夫と改善
    - ・全学年の算数，高学年の理科・外国語活動でT T指導と少人数指導を実施
    - ・4～6年の算数では教育専門監と担任によるT T指導を実施
    - ・外国語活動では学級担任と中学校教諭・ALTによるT T指導を実施
    - ・デジタル教材の有効活用
    - ・一部教科担任制を実施（社会・理科・家庭科・音楽）
  - 3 自ら考え，学び続ける力の育成
    - ・生活経験や既習事項との関連付けが図れる環境作り—学習コーナーの設置やノート・ファイルの活用
    - ・「伝え合い・学び合い」の充実を目指した授業実践と校内授業研究会—全校で取り組む授業改善

## 4 特別支援教育の充実

- ・校内特別支援教育委員会の実施
- ・特別支援教育セミナーの実施—県教委との連携
- ・研修会等への積極的な参加—教員及び学校生活支援員

## 達成状況

- ◆今年度の県学習状況調査【質問紙】（H28.12実施）において、主体的な学びにかかわる項目の結果は次のとおりであった。  
 <授業について>

## 【ふだんの授業では自分の考えを発表する機会があると思う】

( )の数值は全県平均

A (つよくそう思う, そう思う)

B (そう思わない, まったくそう思わない)

4年: 88.5% (88.8%)	11.3% (11.1%)
5年: 76.0% (89.8%)	24.0% (10.2%)
6年: 94.6% (92.6%)	5.4% (7.4%)

## H27年度と経年比較すると

- ☆5年生が－ 8.3P (84.3%→76.0%)  
 ☆6年生が＋13.5P (81.1%→94.6%)

「自分の考えを発表する機会がある」と答える子どもの肯定的回答の割合を経年比較で1P以上上げるという目標は、6年生では達成できたが、5年生は達成できなかった。5年生でも豊かなかわり合い・学び合いができるよう、伝え合いの場や学び合いの場を意図的に設けて授業を行ってきたが、まずは基礎的・基本的内容が定着するような指導に重点を置いたことも一因ではないかと考えられる。

- ◆今年度の学校運営アンケート（H28.12実施）において、家庭学習にかかわる項目の結果は次のとおりであった。  
 <家庭学習について>

## 【学校の宿題や家庭学習をがんばってやっている】児童

( )はH28.7実施時の数值

A (そう思う, まあまあそう思う)

B (あまり思わない, ぜんぜん思わない)

1年: 94.3% (97.2%)	5.7% (2.9%)
2年: 89.6% (89.1%)	10.4% (10.9%)
3年: 85.0% (85.0%)	15.0% (15.0%)
4年: 87.0% (86.4%)	13.0% (13.6%)
5年: 84.0% (76.0%)	16.0% (24.0%)
6年: 83.9% (76.8%)	16.1% (23.2%)
☆全体 +2.8P	86.9% (84.1%)

## 【自分の子どもは家庭学習の時間が定着してきている】保護者

( )はH28.7実施時の数值

A (そう思う, まあまあそう思う)

B (あまり思わない, ぜんぜん思わない)

1年: 83.8% (80.0%)	17.2% (17.2%)
2年: 77.5% (86.7%)	13.3% (13.3%)
3年: 76.5% (57.9%)	42.1% (42.1%)
4年: 70.5% (73.2%)	26.6% (26.6%)
5年: 73.7% (61.3%)	38.7% (38.7%)
6年: 62.2% (66.0%)	34.0% (34.0%)
☆全体 +2.7P	73.2% (70.5%)

児童では5年生が8P、6年生が7.1P肯定的回答が増えた。保護者では3年生が18.6P、5年生が5.4P増えた。児童はがんばっていると感じているが、保護者は評価が児童より厳しいようである。学校全体では前回に比べ概ね良好であるが、学年によっては下がったところもあり一部課題が残る結果となった。



⑧

自己評価	(評価)	(根拠)	C
	B	<p>積極的に伝え合い、学び合う力を高めるために、校内授業研究会等で授業改善について全校で取り組んできた結果、授業の中で自分の考えを発表する児童が増えてきた。しかし学年によっては児童の意識に差があるので、今後も自分の考えを表現することを重点に授業改善を進めていきたい。</p> <p>家庭学習については、各学年の児童の実態に合わせた指導を継続するとともに、学年・学級通信、PTA等の機会に保護者に呼びかけるなど、改善に向けた保護者との連携を一層図りながら取り組んでいきたい。</p>	

↑ 評価基準 A：具体的な活動がなされ目標を達成できた B：具体的な活動はなされているが、目標は達成できていない  
↓ C：具体的な活動がなされておらず、目標も達成できていない

⑨

学校関係者評価と意見	(評価)	(意見)	C
	A	<p>工夫された授業，子ども一人一人に寄り添った指導によって，子どもたちが自分の考えを発表し，友達の意見を聞き，お互いの力を伸ばし共に学ぶ力になっている。自信につながれば更に学び合いが深まり満足感が高まるだろう。奮闘する五小教師集団の努力には頭が下がる。</p> <p>家庭学習については，学習時間が定着しつつありよい方向に向かっている。ノート展を見ても回を重ねるごとに素晴らしい内容になってきている。今後も引き続き内容に重点をおいた指導を期待する。</p>	

⑩

自己評価及び学校関係者評価に基づいた改善策	<ul style="list-style-type: none"> <li>・主体的，対話的で深い学びを実践するために，探究型の授業を充実させ，互いの考えを認め合う学び合いを通して「読み取る」「説明する」力を高める指導を行っていく。</li> <li>・家庭学習については，進んで「問い」を發し，課題解決に進んで関わろうとする自ら学ぶ意欲を高める指導を行っていく。</li> </ul>	A
-----------------------	--	---

②

重点目標

夢に向かって磨く豊かな心（思いやる心の育成）

③

現 状

◆昨年度の県学習状況調査【質問紙】（H27.12実施）において、思いやる心の育成にかかわる項目の結果は次のとおりであった。

<b>【友だちとの約束を守っている】</b>		（ ）の数値は全県平均	
A（あてはまる、どちらかといえばあてはまる）	B（どちらかといえばあてはまらない、あてはまらない）		
4年：96.0%（97.5%）	4.0%（2.5%）		
5年：98.2%（98.5%）	1.8%（1.4%）		
6年：98.5%（98.8%）	1.5%（1.2%）		
<b>【いじめはどんな理由があってもいけないことだと思う】</b>		（ ）の数値は全県平均	
A（あてはまる、どちらかといえばあてはまる）	B（どちらかといえばあてはまらない、あてはまらない）		
4年：100.0%（98.7%）	0.0%（1.4%）		
5年：100.0%（98.8%）	0.0%（1.3%）		
6年：95.6%（98.9%）	4.4%（1.1%）		

◆今年度の学校運営アンケート（H28.7実施）において、思いやる心の育成にかかわる項目の結果は次のとおりであった。

<b>【学校では友だちと仲よくして生活している】</b>		児童	
		（ ）は前学年のH27.12実施時の数値	
A（そう思う、まあまあそう思う）	B（あまりそう思わない、ぜんぜん思わない）		
1年：97.1%	2.9%（2.5%）		
2年：97.8%（93.6%）	2.2%（6.4%）		
3年：100.0%（98.8%）	0.0%（7.5%）		
4年：97.7%（100%）	2.3%（0.0%）		
5年：96.0%（100%）	4.0%（0.0%）		
6年：98.2%（98.2%）	1.8%（1.8%）		
☆総計	97.8%（95.8%）	2.2%	（4.2%）

◆子どもの心の育成に関連して、家庭でのメディア視聴時間の調査結果（H26・H27 全国学力・学習状況調査－児童質問紙）を見ると、次のとおりであった。

	平成26年度			平成27年度		
	全国	秋田	本校	全国	秋田	本校
4時間以上	19.8	16.1	<b>20.8</b>	19.2	15.2	<b>23.5</b>
3～4時間	18.2	17.7	<b>22.9</b>	16.9	16.8	<b>20.6</b>
2～3時間	23.3	25.0	<b>43.8</b>	23.1	24.7	<b>26.5</b>
1～2時間	24.5	27.5	<b>6.3</b>	25.3	28.8	<b>19.1</b>
1時間未満	12.6	12.7	<b>6.3</b>	13.5	13.1	<b>8.8</b>
0時間	1.5	1.0	<b>0.0</b>	1.9	1.2	<b>1.5</b>

全国・秋田県の数値に比較して、本校児童（6年）のテレビ等の視聴時間は全体的に長く、1日の視聴時間が4時間以上の子どもの割合が増えていることが分かった。

◆本校では友だちと仲よくしたり友だちとの約束を守ったりしている児童が多いが、理由によってはいじめもしかたがないと思っている児童が若干いることが分かった。一方、豊かな心の育成に欠かせない基本的な生活習慣における「メディア視聴時間」に問題点がある。児童のメディア視聴・利用の状況について、学校と地域・家庭とが連携し指導・改善を図っていく必要がある。

P

④

具体的な目標	<p>○友だちを思いやる心の育成「友だちとの約束を守っている」「いじめはどんな理由があってもいけないことだと思う」「学校では友だちと仲良くして生活している」の項目で、どの学年も昨年度よりも肯定的な評価の割合を増やす。</p> <p>○地域・保護者との連携により、子どもの1日当たりのメディア視聴3時間以上の割合を前年度より1Pでも減らす。</p>
--------	---



⑤

目標達成のための方策	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 礼儀正しく思いやりのある生活態度の育成 <ul style="list-style-type: none"> <li>・明るいあいさつと場に応じた言葉遣いや行動</li> <li>・かかわり合い、認め合い、信頼し合う学級づくり</li> </ul> </li> <li>2 体験的な活動の充実 <ul style="list-style-type: none"> <li>・体験的な活動を通じた言語活動の充実</li> <li>・人間的な触れ合いを深める集団活動や体験的な活動の充実</li> <li>・個性を伸ばし、達成感、成就感を味わえる集団活動の展開</li> </ul> </li> <li>3 豊かな感性を育む環境づくり <ul style="list-style-type: none"> <li>・清潔感のある学校環境づくり</li> <li>・伝統・文化に触れる活動、本物に触れる体験活動の充実</li> <li>・出会い・発見・感動の様子や活動が見える環境構成の工夫</li> </ul> </li> <li>4 道徳教育・福祉教育等の推進 <ul style="list-style-type: none"> <li>・豊かな心を育み、愛校心、郷土愛を培う道徳教育の充実</li> <li>・道徳的実践力を高める「道徳の時間」の充実</li> <li>・心がかよひ合う福祉教育・人権教育の推進</li> </ul> </li> <li>5 読書活動の推進 <ul style="list-style-type: none"> <li>・読書タイムを活用した読書活動の推進</li> <li>・ボランティアによる読み聞かせや委員会活動の工夫</li> </ul> </li> <li>6 基本的生活習慣の確立 <ul style="list-style-type: none"> <li>・生徒指導、保健指導を中心とする生活実態調査の実施</li> <li>・メディアの視聴・利用時間に関する児童・保護者への指導と啓発・啓蒙</li> </ul> </li> </ol>
------------	---



⑥

具体的な取組状況	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 礼儀正しく思いやりのある生活態度の育成 <ul style="list-style-type: none"> <li>・学年に応じた「月別重点目標」の具体化と達成状況評価</li> <li>・あいさつ運動の実施</li> </ul> </li> <li>2 体験的な活動の充実 <ul style="list-style-type: none"> <li>・全校縦割り班活動（夢集会・なべっこ・外清掃・花苗植栽）</li> <li>・宿泊体験活動（修学旅行・自然教室）</li> <li>・小中連携（小学生体験入学・中学生職場体験 等）</li> <li>・幼保小連携理解推進事業（体験交流）</li> <li>・福祉施設との交流（茶道・民謡クラブ、ボランティア委員会）</li> </ul> </li> <li>3 豊かな感性を育む環境づくり <ul style="list-style-type: none"> <li>・人権の花植栽活動と水やり活動</li> <li>・「今月の歌」の実施－歌声が響く校舎</li> <li>・演劇教室「シンドバットの冒険」劇団わらび座</li> </ul> </li> <li>4 道徳教育・福祉教育等の推進 <ul style="list-style-type: none"> <li>・「わたしたちの道徳」（文科省）の活用</li> </ul> </li> </ol>
----------	---



⑦

達成状況

- ・道徳授業についての発信—学級通信などで紹介
- ・特殊詐欺防止のはがき作成（全町へ）
- ・お年寄りへのメッセージカード作成（湖東老健へ）  
（学習発表会への招待と年賀状等）
- 5 読書活動の推進
  - ・ブック委員会の活躍（図書の貸し出し・読み聞かせ）
  - ・ボランティア活動（おはなしポシエット・図書修理）
  - ・昼の読書タイム（学級文庫の充実）
  - ・授業に生きる図書館運営—学習センターとしての機能
- 6 基本的生活習慣の確立
  - ・学年に応じた「月別重点目標」の具体化と達成状況評価
  - ・生活実態調査「五小っ子カード」11月実施  
（早寝・早起き・朝ご飯，メディアの視聴・利用時間等）
  - ・児童・保護者への指導と啓発

◆今年度の県学習状況調査【質問紙】（H28.12実施）において，思いやる心の育成にかかわる項目の結果は次のとおりであった。

<b>【友だちとの約束を守っている】</b>		（ ）の数値はH27.12実施の数値
A（あてはまる，どちらかといえばあてはまる）	B（どちらかといえばあてはまらない，あてはまらない）	
5年： 96.0%（96.0%）	4.0%（4.0%）	
6年： 100.0%（98.2%）+1.8P	0.0%（1.8%）	

今年度の県学習状況調査【質問紙】でははじめの項目がなかったもので，12月に校内で実施した生活アンケートの結果を掲載する。

<b>【いじめはどんな理由があってもいけないことだと思う】</b>		（ ）の数値は全学年H27.12実施時の数値
A（あてはまる，どちらかといえばあてはまる）	B（どちらかといえばあてはまらない，あてはまらない）	
4年： 100.0%（95.8%）+4.2P	0.0%（2.1%）	
5年： 100.0%（94.1%）+5.9P	0.0%（4.0%）	
6年： 98.2%（92.8%）+7.2P	0.0%（7.3%）	

今年度の学校運営アンケート（H28.12実施）において，思いやる心の育成にかかわる項目の結果は次のとおりであった。

<b>【学校では友だちと仲良くして生活している】</b>		児童 （ ）はH28.7実施時の数値
A（そう思う，まあまあそう思う）	B（あまりそう思わない，ぜんぜんそう思わない）	
1年： 97.1%（97.1%）	2.9%（2.9%）	
2年： 98.0%（97.8%）	2.1%（2.2%）	
3年： 97.5%（100%）	2.5%（0.0%）	
4年： 91.3%（97.7%）	8.7%（2.3%）	
5年： 100.0%（96.0%）	0.0%（4.0%）	
6年： 100.0%（98.2%）	0.0%（1.8%）	
<b>☆全体</b>	<b>97.5%（97.8%）</b>	<b>2.5%（2.2%）</b>

「友だちと約束を守っている」と「いじめはどんな理由があってもいけないことだと思う」の項目は，概ね改善の傾向が見られた。また，「学校では友だちと仲良くして生活している」の項目は，ほぼ同じ結果であった。今後も改善に向けて取り組んでいきたい。

◆子どもの心の育成に関連して，家庭でのメディア視聴時間についての生活アンケートを昨年度と比較してみると，次のとおりであった。

〈普段（月～金）1日当たりのテレビ等の視聴時間〉 児童

数値は%，（ ）は前学年のH27.12実施の数値

	3年	4年	5年	6年
4時間以上	13.2	9.1(17.0)	16.0(19.6)	5.4(5.5)
3～4時間	18.4	15.9(6.4)	24.0(15.7)	10.7(7.3)
2～3時間	10.5	25.0(12.8)	20.0(19.6)	17.9(20.0)
1～2時間	28.9	20.5(25.5)	32.0(27.5)	42.9(41.8)
1時間未満	21.1	29.5(34.0)	8.0(11.8)	21.4(23.6)
0時間	7.9	0.0(2.1)	0.0(3.9)	1.8(1.8)

☆全体  
 4時間以上 10.6(13.5) 1～2時間 31.9(31.1)  
 3～4時間 17.0(11.7) 1時間未満 19.7(18.9)  
 2～3時間 18.6(21.6) 0時間 2.1(2.3)

メディアの視聴・利用時間に関する児童への生活アンケートによると、3時間以上の割合がどの学年でも改善が見られず長時間の視聴がまだまだ多かった。



⑧

<b>自己評価</b>	(評価)	(根拠)	<b>C</b>
	B	家庭でのメディア視聴時間については、児童への指導と保護者への啓発を行ってきたが、目標は達成できなかった。次年度に向け児童への指導の在り方を見直すとともにもっとメディア視聴時間を減らして親子の対話時間を増やせるように保護者にも引き続き働きかけていきたい。友だちを思いやる心の育成については、概ね目標達成できたと思う。引き続き友だちと仲良くして生活していると回答する児童を増やしていくように努めたい。	

↑ 評価基準 A：具体的な活動がなされ目標を達成できた B：具体的な活動はなされているが、目標は達成できていない  
 ↓ C：具体的な活動がなされておらず、目標も達成できていない



⑨

<b>学校関係者評価と意見</b>	(評価)	(意見)	<b>C</b>
	B	夢を応援する工夫された学習指導、ふるさと先生・ボランティアの協力、本物に触れる体験学習により、子どもたちの行動や言葉に相手を思いやる温かさを感じる。あいさつもよくなり、のびのびとした様子が見られる。 家庭でのメディア視聴時間については今後も働きかけていく必要がある。	



⑩

<b>自己評価及び学校関係者評価に基づいた改善策</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・家庭・地域と連携を図りながら、子どもたちが夢を育み夢に向かってよさを発揮し、互いのよさを認めながら活動に取り組めるよう引き続き内容の充実にも努めていく。</li> <li>・メディアとの接し方については、情報発信・情報共有を定期的に行い、学校と家庭が一体となって健全な生活に向けて改善を図っていく。</li> </ul>	<b>A</b>
------------------------------	--	----------